



2023年11月20日

報道関係者各位

学校法人甲南学園

# 大阪・関西万博開幕まで500日！ 「万博」をテーマに甲南映画祭を開催

このたび、甲南大学文学部は甲南映画祭を開催いたします。本イベントは、神戸市立三宮図書館にご協力、パルシネマしんこうえんにご共催いただき、映画というメディアを通して、専門領域を横断し、議論する機会を生むことを目的とし、甲南大生だけではなく、学外の方々にも大学の知の扉を開くイベントです。

初開催となる今年は、日本国際博覧会（大阪・関西万博）の開幕が近づいてきたことから、「万博」をテーマに設定し、甲南大学岡本キャンパスでは、大阪・関西万博の開幕まで500日となる11月30日（木）から同12月8日（金）に万博に関連した映画の上映とトークイベントを実施いたします。12月1日（金）には、開幕特別企画として、齋藤元彦兵庫県知事をお招きし、座談会「齋藤知事と甲南大生が語り合う、万博・映画・SDGs」を開催いたします。また、1970年大阪万博の会場で上映された『1日240時間』（勅使河原宏監督・安部公房脚本・1970年）のデジタル復元版の上映と解説もごさいます。

甲南大学岡本キャンパスで実施される各プログラムは、上記座談会を除き、申し込み不要でどなたでも参加いただけます。甲南映画祭の詳細なスケジュール等は、別紙のチラシ、下記URLをご覧くださいまして、取材ならびに紙面掲載についてご検討いただけますようお願い申し上げます。

○甲南映画祭2023 WEBサイト

<https://www.konan-u.ac.jp/news/archives/44781>

以上

## 《プレスリリース全体に関するお問い合わせ先》

甲南学園広報部

〒658-8501 神戸市東灘区岡本8-9-1

電話 078-435-2314 FAX 078-435-2546 Email: [kouhou@adm.konan-u.ac.jp](mailto:kouhou@adm.konan-u.ac.jp)

## 《本件に関するお問い合わせ先》

甲南大学文学部事務室

電話 078-435-2673 E-mail: [bun@adm.konan-u.ac.jp](mailto:bun@adm.konan-u.ac.jp)

プレスリリース配信先：兵庫県政記者クラブ、兵庫県教育委員会記者クラブ、神戸市政記者クラブ

# 甲南映画祭 '23

## 《万博映画特集》

### ～70年大阪万博の光と影～

2023年11月30日(木)～12月8日(金)

12月1日、開幕イベントに  
齋藤元彦 兵庫県知事が登場！

甲南大学岡本キャンパスと  
神戸の映画館で共同開催！

EXPO2025まで500日あまり。

過去と現在の映画を通して

50年前の万博と日本に

今こそ出会い直そう。

#### 上映作品

『1日240時間』 大阪万博自動車館上映作  
(勅使河原宏監督・安部公房脚本 1970年)

『EXPO'70 前衛の記憶～アコを探して』 予告篇  
(寺嶋真里監督 甲南大学生出演！)

『太陽の塔』(関根光才監督 2018年)

『家族』(山田洋次監督 1970年)

『少年』(大島渚監督 1969年)

『とむらい師たち』(三隅研次監督 1968年)

『大阪万博2023』(友田義行制作)

ドキュメンタリーで見る日本万国博

アニメーション映画に描かれた万博

☆詳細なスケジュールは裏面や公式サイトを参照

特別講演・解説あり  
参加無料  
予約不要  
(座席には限りがあります)



甲南映画祭公式サイト

主催：甲南大学文学部  
(甲南映画祭実行委員会)

共催：パルシネマしんこうえん  
協力：神戸市立三宮図書館



# —映画から考える、大阪万博が描いた夢と課題—

## 11月30日（木） 前夜祭

- 12:30-14:30 アニメーション映画に描かれた大阪万博①※ 5-11（5号館1F）  
15:00-16:30 アニメーション映画に描かれた大阪万博②※ 図書館地下視聴覚ホール

## 12月1日（金） 開幕特別企画

- 13:30-14:30 第Ⅰ部 齋藤元彦兵庫県知事×甲南大学生トークイベント  
Global Connecting Passage（2号館3F）  
『EXPO'70 前衛の記憶～アコを探して』（予告篇）  
15:00-16:00 第Ⅱ部 『1日240時間』※ 図書館地下視聴覚H  
16:10-18:00 ドキュメンタリーで見る日本万国博 図書館地下視聴覚H

## 12月4日（月）

- 12:15-15:00 『家族』※ 図書館地下視聴覚H  
15:10-16:50 『少年』 図書館地下視聴覚H

## 12月5日（火）

- 12:50-14:30 『太陽の塔』前半※ 8-13（8号館1F）  
14:40-16:10 『太陽の塔』後半※ 8-13（8号館1F）  
16:30-18:00 ドキュメンタリーで見る日本万国博 図書館地下視聴覚H

## 12月6日（水）

- 10:40-12:10 『大阪万博2023』※ 図書館地下視聴覚H  
13:00-14:30 『大阪万博2023』※ 図書館地下視聴覚H  
15:00-18:00 ドキュメンタリーで見る日本万国博 図書館地下視聴覚H

## 12月7日（木）

- 13:00-15:10 『とむらい師たち』※ 図書館地下視聴覚H  
15:30-17:10 『とむらい師たち』 図書館地下視聴覚H

## 12月8日（金）

- 12:20-14:30 『少年』※ 13-103（13号館1F／岡本キャンパス西校舎）  
15:00-17:30 『家族』※ 13-103（13号館1F／岡本キャンパス西校舎）



※印のプログラムでは講演・解説も行われます。

「岡本キャンパス教室」の会場や講演・解説等の詳細は〈甲南映画祭公式サイト〉でご確認ください。同じ期間中に神戸の映画館でも万博映画の上映があります。

1970年に開催された日本万国博覧会（＝大阪万博・70年万博・エキスポ70）は、戦後日本の一大国家イベントであった。メインテーマは「人類の進歩と調和」。77カ国が参加し、総入場者数はなんと6421万人を記録した。会場には最先端の科学技術があふれ、来場者は約束された近未来都市の姿に心をおどらせた。

大阪万博が描いた、光かがやく未来。そこではどんな展示がなされ、その背後にはどんな思想があったのだろうか。人類の「進歩」が祝福される一方で、「調和」が必要とされたのは、さまざまな矛盾や軋轢が世界を覆っていたことの証左でもある。〈光〉と表裏一体である〈影〉に、万博はどのように向き合ったのだろうか。

こうした問いに大きなヒントを与えてくれるのが、映画である。そこで、甲南大学では11月末から約1週間にわたり、岡本キャンパスと神戸の地域映画館を舞台に、〈万博映画〉の上映とトークイベントを実施する。万博会場を記録したドキュメンタリー、大阪万博を題材にした巨匠たちの劇映画、万博会場でロケを行った作品、万博に背を向けた作品、近年のアニメーションやアート映画、そして当時パビリオンで実際に上映されていた映像作品……〈万博映画〉を通して、現代につながる戦後日本社会が多面的に見えてくるはずだ。

いま再び、関西で万博が開催されようとしている。経済効果ばかりが目されるが、万博には芸術の祭典としての側面がある。今度の万博で、映画はどんな姿を見せるだろうか。

上映に加え、本学教員のトークや、ゲスト講師による特別講演も！

【ゲスト講演】  
12月4日 14:00～  
板倉史明氏  
（神戸大学教授・映画学）  
12月8日 ①14:00～ ②16:50～  
西田博至氏  
（神戸市立三宮図書館長・映画評論家）



最新情報は公式サイトをチェック！